

2024（令和6）年度第2回地球温暖化対策おおいた市民会議 議事要旨

日 時 2024（令和6）年8月26日（月） 14時00分～14時45分

場 所 大分市役所本庁舎8階 大会議室

出席者 ○委員：27人

○事務局：7名

改定業務委託事業者：2名

次 第 ○2024（令和6）年度 第2回地球温暖化対策おおいた市民会議

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報 告

（1）地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について

（2）2024（令和6）年度の取組について

4 委員よりお知らせ

5 閉 会

【報告】

(1) 大分市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について資料 1、資料 2 を用いて、事務局より説明しました。

下記のとおり委員からご意見をいただきました。

(委員)	第 3 期計画からの構成変更のポイントについて（補足説明） 改定計画のポイントは 2 つあり、1 つ目は大分市全体と特定事業所で目標を分けて設定したことである。第 3 期計画まではこういったことはしていなかったが、大分市は温室効果ガスの排出量が多く、市民には、特定事業所の排出量が多いため、一人ひとりが取り組んでも効果がないのではないかという思いもある。温暖化対策は、市民、行政、大きな事業者も中小事業者もみんなで取り組まなければならないため、それぞれの立場で目標が見やすくなったことがポイントである。 大分市はゼロカーボンシティ宣言をしており、2050 年のカーボンニュートラルを達成するために頑張らなければいけない。何をどれくらい頑張らなければいけないか、を示したものが資料 2p.2 下部のグラフとなっている。大分市でカーボンニュートラルを達成するためには、削減対策と再エネ導入どちらも進めなければいけない。資料 1p.41 に再生可能エネルギー導入の方向性が記載されているが、市域の電力需要をすべて再エネでまかなうという大きな目標を達成しなければカーボンニュートラルは達成できない。 この実行計画は非常にリアルでシビアな、決して簡単なことを掲げているのではないということをご理解いただきたい。
(委員)	適応策における緑化の位置付けについて（ご要望） 都市緑化について普及啓発する際に、緑化は緩和策にも適応策にもなる、という説明をしているが、資料 2 p.6 下部の図の適応策部分に緑化についての記載がない。図の適応策部分に緑化についての記述を追加してほしい。 市単独での取組が難しいということであれば、事業者への呼びかけなどではどうか。
(事務局)	イラストは環境省の資料を引用しており、イラストに追記することは難しいと考えられるが、対応を検討したい。 本計画は各主体の取組を記載しているが、相互の協力が不可欠である。色々な機会にご協力を呼びかけながら進めていきたい。
(委員長)	適応策の基本方針 2 の部分に、森林緑化・緑化の推進というようなキーワードが入ると良いのではないか。
(事務局)	部会長と相談して検討したい。

(委員)	今後の連携について（ご感想） 資料 2p.7 に推進体制が記載されており、現在連携は取れているが、想像を超えた大きな気候変動の影響が起こった場合に、連携が取れるかどうか不安であり、課題でもある。
(委員長)	後ほどアンケートの配布があるため、追加があればご意見・ご質問をいただきたい。

(2) 2024（令和6）年度取組について、資料3を用いて事務局より説明しました。

下記のとおり委員からご意見をいただきました。

(委員)	宅配ボックス助成事業について（ご提案） 宅配ボックスの設置は、脱炭素だけではなく、人手不足という社会問題にも貢献するため、来年度も事業を継続されるのであれば、予算増額または宅配ボックスと省エネ家電の補助事業一本化を検討してほしい。
(事務局)	宅配ボックスについては、大変ニーズが高いと認識している。予算上のことは確定的なことは言えないが、今年度の事業効果と市民ニーズを検証してやっていきたい。

【委員よりお知らせ】

- ・大分県信用組合の地球温暖化対策の取組について、当日配布資料を用いて委員より説明いただきました。